

事務委託先と取組実施者の関係について（ＪＡ向け）

論点

道内多くのＪＡが本事業の事務に関与すると想定されるなか、「道協議会が事務を委託した組織は、取組実施者となることはできない」とされている。

そのため、国から示されている要領、ＱＡを踏まえ、事務委託先と取組実施者の関係を下記の通り整理した。

【取組実施者と事務委託先】

		取組実施者		
		ＪＡ	ＪＡが事務局の 生産部会等	再生協議会、畜産ク ラスター協議会
事務委託先	ＪＡ	×	×	○
	ＪＡが事務局の 生産部会等	×	×	○
	再生協議会、畜産ク ラスター協議会	○	○	×

※ 事務委託先： 道協議会から事務委託費が支払われる。

取組実施者： 申請者であるため事務委託費を受け取ることは出来ない。

【参考】事務委託先を選定する際、地域における考え方

- ① 組合員がＪＡ以外の肥料販売業者から購入した分もまとめてＪＡが支援金を申請する方針とした場合。
 - ⇒ 取組実施者をＪＡ、事務委託先を地域協議会とするパターン。
 なお、地域協議会に事務費が支払われるが、地域協議会から市町村やＪＡ等の構成員へ事務費をどのように配分するかは地域協議会へ委ねられている。
- ② 組合員がＪＡ以外の肥料販売業者から購入した分をＪＡが取り扱わない方針とした場合
 - ⇒ 取組実施者を地域協議会、事務委託先をＪＡとするパターン。
 （理由：取組実施者となる地域協議会の構成員である市町村へＪＡ以外の取引を申請できるようにするため）